



# ウィンザーチェア

— 日本人が愛した英国の椅子 2017年9月7日(木) - 11月23日(木祝)

主催：日本民藝館 共催：長野県信濃美術館 出品協力：静岡市立芹沢銈介美術館、松本民芸生活館、村田コレクション 写真：コムバック・アームチェア イギリス 18世紀 高106cm×幅57.5cm×奥72cm 日本民藝館蔵 〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 TEL03-3467-4527 交通・京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

**日本民藝館**

<http://www.mingeikan.or.jp/>

ウインザーチェアがイギリスで生まれたのは18世紀前半と云われています。すべての部材に木を用い、座板に脚や背棒が直接差し込まれたこの椅子は、自然で質朴な美しさを持つ実用品として幅広い層に受け入れられていきました。

民藝運動の創始者である柳宗悦（1889-1961）と陶芸家の濱田庄司（1894-1978）は、1929年にイギリスに赴き、ウインザーチェアをふくむ約300点の椅子を求めます。これらの家具はその後東京で展示頒布され、日本におけるウインザーチェア普及の大きな牽引役を果たしました。民藝運動の中では、柳や濱田のほか、バーナード・リーチ、芹沢銈介、池田三四郎といった人々から高い評価を得、蒐集や製作も各地でなされ、やがて西洋家具の代表として認知されていきます。

請来されている数や、それに倣った作り手の存在を考えると、日本人にとってのウインザーチェアは、室町期に渡ってきた高麗茶碗や、民藝運動草創期に影響を与えたイギリスの古陶スリップウェアなどと同様、外邦工芸品として特別な作物といえるかもしれません。

本展では、現在日本にあるウインザーチェアの優品と、関連する欧米の多様な椅子をかつてない規模で展覧し、素材から得た確かな手法と、その伝統に根差した造形美を紹介します。



1. ボウバック・アームチェア イギリス 18世紀 高95cm 村田コレクション / 2. ファンバックチェア イギリス 18世紀 高86cm 個人蔵 / 3. スティックバック・アームチェア イギリス 18世紀 高91.5cm 松本民芸生活館 / 4. コムバック・アームチェア イギリス 18世紀 高101cm 村田コレクション / 5. コムバック・アームチェア イギリス 18世紀 高102.5cm 松本民芸生活館 / 6. ボウバック・アームチェア イギリス 18-19世紀 高111.5cm 個人蔵 / 7. コムバック・アームチェア イギリス 18世紀 高106cm 個人蔵 / 8. ボーデイト・ウィングチェア イギリス 17世紀 高110cm 松本民芸生活館

記念講演会 10月28日(土)

松本民芸家具とウインザーチェア

〔講師〕池田素民（松本民芸家具常務取締役）

特別講演会 11月11日(土)

ロマネスクと柳宗悦

〔講師〕金沢百枝（東海大学文学部ヨーロッパ文明学科教授）

両日とも

18:00-19:30

〔料金〕300円（入館料別、要予約）

□開館時間 10:00-17:00（入館は16:30まで） □休館日 月曜日（ただし祝日の場合は開館し、翌日振替休館） □入館料 一般1,100円 大高生600円 中小生200円  
 □西館公開日（旧柳宗悦邸）会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜（開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで） □所在地 〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33  
 □電話番号 03-3467-4527 □交通 京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<http://www.mingeikan.or.jp/>

**日本民藝館**



次回展・2017年12月10日(日)～12月23日(土祝) 平成29年度 日本民藝館展—新作工芸公募展—  
 2018年1月11日(木)～3月25日(日) 棟方志功と柳宗悦